作成日 2010年 5月 7日
改定日 2017年 4月14日
第5版

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	レオパールKL2
製品コード	H111
会社名	千葉製粉株式会社
住所	千葉市美浜区新港17番地
電話番号	043-241-0111
緊急時の電話番号	043-241-0111(代)
FAX番号	043-241-0806
メールアドレス	kikaku@chiba-seifun.co.jp
推奨用途及び使用上の制限	医薬品添加剤、医薬部外品原料、化粧品原料、その他化学品原料

2. 危険有害性の要約

GHS分類 分類実施日	事業者向けGHS分類ガイダンス(平成25年度改訂版(Ver1.1)平成27年3月)を使用	
物理化学的危険性	爆発物	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス類	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	区分外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	区分外
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	急性毒性(吸入:ガス)	分類できない
	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入:粉じん)	分類できない
	急性毒性(吸入:ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分外
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	分類できない

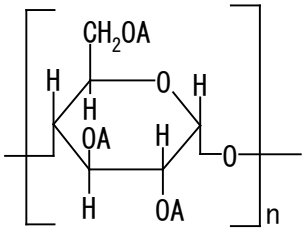
	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない
GHSラベル要素	絵表示またはシンボル	該当しない
	注意喚起語	該当しない
	危険有害性情報	該当しない
その他の危険有害性情報	指定可燃物 (下記関係法令参照) 「消防法 第9条の4」「危険物の規制に関する政令 第1条の12」	

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 単一製品

化学名又は一般名 パルミチン酸デキストリン

化学特性 (示性式又は構造式)



A:パルミトイル基または水素
n:重合度

CAS番号 83271-10-7

官報公示整理番号(化審法・安衛法) (8)-126

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 なし

濃度又は濃度範囲 95%以上

GHS分類上の裾切り値以下である不純物
メタノール<5ppm(弊社測定限界)
ジメチルホルムアミド<5ppm(弊社測定限界)
β -ピコリン<300ppm

分類に寄与しない不純物 パルミチン酸 5%以下

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で急速させるこ
気分が悪い時は医師の診断/手当を受けること。

皮膚に付着した場合 多量の水と石けんで洗うこと。
外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は医師の診断/手当を受けること。

目に入った場合 多量の水で洗うこと。コンタクトレンズを着用していて用意にはずせる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続くときは、医師の診断/手当を受けること。

飲み込んだ場合 無理に吐かせないこと。
口をすすぐこと。
気分が悪い時は医師の診断/手当を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤 粉末、炭酸ガス、泡、乾燥砂などを用いる。

使ってはならない消火剤 棒状放水

特有の危険有害性 データなし

特有の消火方法 初期の火災には、水噴霧、粉末、炭酸ガス、乾燥砂などを用いる。
大規模火災には、泡消火器を用いて空気を遮断する。

消火を行う者の保護 適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	作業には必ず保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を使用する。
環境に対する注意事項	漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。
回収・中和	掃除機等で吸引収集する。
封じ込め及び浄化方法・機材	データなし
二次災害の防止策	データなし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	**技術的対策**	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器及び身体洗浄用の水道を設備する。
	局所排気・全体換気	適切な換気を行う。
	安全取扱い注意事項	接触、吸入防止のための個人保護具を着用する。 通気の良いところで取り扱う。
	接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管	**技術的対策**	火気、熱源を避ける。
	混触危険物質	データなし
	保管条件	直射日光、高温多湿を避け、冷暗所にて保管する。
	容器包装材料	未開封での保存が望ましい。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度		設定されていない
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)		
	日本産衛学会(2015年版)	設定されていない
設備対策		この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器及び身体洗浄用の水道を設備する。 適切な換気を行う。
保護具	**呼吸器の保護具**	状況に応じて着用する。
	手の保護具	ゴム製保護手袋等を着用する。
	眼の保護具	安全ゴーグル等を着用する。
	皮膚及び身体の保護具	長袖の作業着を着用する。
衛生対策		取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	**形状**	粉末または粒状の物質
	色	白色～淡黄褐色
	臭い	ないか、または特異なにおいがある。
	pH	データなし
融点・凝固点		50～130℃
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		＞200℃
自然発火温度		データなし
燃焼性(固体、ガス)		データなし
爆発範囲		データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度		データなし
蒸発速度(酢酸ブチル＝1)		データなし
比重(密度)		データなし
溶解度		難溶 ： 水、メタノール、エタノール 可溶 ： キシレン、ベンゼン、クロロホルム、四塩化炭素
オクタノール・水分配係数		データなし
分解温度		データなし
粘度		データなし
粉じん爆発下限濃度		データなし

最小発火エネルギー	データなし
体積抵抗率(導電率)	データなし
その他のデータ	燃焼熱量　36.8kJ/g

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の保管及び取扱においては安定と考えられる
危険有害反応可能性	反応性は低い。
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

11. 有害性情報

急性毒性　経口	ラットへ2000mg／kgの用量で経口投与後死亡例はなかったため、区分外とした。※1
経皮	ラットへ2000mg／kgの用量で24時間密封による経皮投与を行ったが死亡例はなかったため、区分外とした。※1
吸入	吸入（ガス）：　データなし 吸入（蒸気）：　データなし 吸入（ミスト）：　データなし
皮膚腐食性・刺激性	3羽のニュージーランド白色系ウサギの皮膚に対する刺激性はなかったため、区分外とした。※1
眼に対する重篤な損傷・刺激性	3羽のニュージーランド白色系ウサギの角膜および虹彩の反応性は認められなかった。点眼後1時間目に1羽のウサギに結膜の僅かな充血が認められたが、24時間後には完全に回復したため、区分外とした。※1
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性：データなし 皮膚感作性：モルモットにおけるMagnusson-Kligmanマキシマイゼーション試験において試験群、対照群とも陽性反応を示したものはなかった。この結果からモルモットにおける感作性があるという証拠はない。※1
生殖細胞変異原性	in vivoのデータがなく、in vitro変異原性試験(Salmonella typhimurium の陰性結果のみで分類できないとした。※1
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	データなし
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし

※1　：　千葉製粉株式会社社内資料（IRI社委託安全性試験結果）による、CAS NO.薬添規の分類が同じ「パルミチン酸デキストリン」製品名「レオパールKL」の情報を記載する。

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	データなし
水生環境慢性有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	一般廃棄物として取り扱う。『7. 取扱い及び保管上の注意』参照のこと。
汚染容器及び包装	一般廃棄物として取り扱う。『7. 取扱い及び保管上の注意』参照のこと。

14. 輸送上の注意

国際規制	**海上規制情報**	該当しない
	航空規制情報	該当しない
	UN No.	該当しない
国内規制	**陸上規制情報**	消防法、労働安全衛生法等の規制に従う。
	海上規制情報	船舶安全法の規制に従う。

航空規制情報	航空法の規制に従う。

15. 適用法令

消防法	指定可燃物(可燃性個体類 : 3,000kg) 「消防法 第9条の4」 「危険物の規制に関する政令 第1条の12」

16. その他の情報

参考文献	千葉製粉株式会社社内資料(IRI社委託安全性試験結果)

記載内容は製品に関する一般的な取り扱いについて最善の調査に基づいて記載しておりますが、化学製品においては未知の有害性があり得るため、すべての情報を網羅しているものではありません。取り扱いには細心の注意が必要です。新たな情報の入手等により追加または訂正されることがあります。記載されたデータ及び評価はいかなる保証をなすものではありません。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件の設定をお願いいたします。また、特別な取り扱いをする場合には、新たに取扱いに適した安全対策を講じた上で、ご使用ください。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件の設定をお願いいたします。
当安全データシートは日本国内法規を基準に作成しております。